



いみず 市議会だより

Imizu City Congress News

No.58

令和2年5月1日発行



新湊西部保育園閉園式での獅子舞披露

4月

17日 議会改革特別委員会専門部会
広報委員会

3月

5日 本会議（代表質問、
議会運営委員会、広報委員会
6日 本会議（一般質問）
9日 議会改革特別委員会
10日 全員協議会、予算特別委員会
11日 総務文教常任委員会
12日 民生病院常任委員会
13日 産業建設常任委員会
16日 予算特別委員会
17日 予算特別委員会、
議会運営委員会
18日 本会議、議会運営委員会
24日 議会改革特別委員会専門部会

2月

7日 議会改革特別委員会専門部会
14日 議会運営委員会
21日 議会運営委員会、議員懇談会、
全員協議会、総務文教常任委員会
27日 議会改革特別委員会専門部会
28日 議会運営委員会、本会議、
全員協議会

市議会のつぎ

3月定例会

会 期

2月28日～3月18日 20日間

議決結果一覧表

[議 案]

32件

番号	件 名	結 果
第1号	令和2年度射水市一般会計予算	可決
第2号	令和2年度射水市国民健康保険事業特別会計予算	可決
第3号	令和2年度射水市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
第4号	令和2年度射水市介護保険事業特別会計予算	可決
第5号	令和2年度射水市水道事業会計予算	可決
第6号	令和2年度射水市下水道事業会計予算	可決
第7号	令和2年度射水市病院事業会計予算	可決
第8号	令和元年度射水市一般会計補正予算（第5号）	可決
第9号	令和元年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
第10号	令和元年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	可決
第11号	令和元年度射水市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決
第12号	令和元年度射水市下水道事業会計補正予算（第3号）	可決
第13号	射水市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
第14号	射水市行政不服審査法施行条例の一部改正について	可決
第15号	射水市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	可決
第16号	射水市債権管理条例の一部改正について	可決
第17号	射水市印鑑条例の一部改正について	可決
第18号	射水市地域包括支援センターの人員等に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第19号	射水市介護保険条例の一部改正について	可決
第20号	射水市立保育園条例の一部改正について	可決
第21号	射水市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
第22号	射水市営住宅条例等の一部改正について	可決

番号	件 名	結 果
第23号	射水市水道事業の設置等に関する条例及び射水市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
第24号	射水市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
第25号	射水市監査委員条例の一部改正について	可決
第26号	射水市ふれあいサロン条例の廃止について	可決
第27号	動産の取得について（（仮称）複合交流施設什器（厨房機器））	可決
第28号	海竜スポーツランド熱源更新工事請負契約について	可決
第29号	射水市本江コミュニティセンター改築（建築主体）工事請負契約の一部変更について	可決
第30号	字の区域の変更について	可決
第31号	指定管理者の指定について（コミュニティセンター13施設）	可決
第32号	損害賠償額の決定について	可決

[報 告]

1件

番号	件 名	結 果
第1号	専決処分の報告について（令和元年専決処分第5号 和解及び損害賠償額の決定）	—

[諮 問]

3件

番号	件 名	結 果
第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申
第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申
第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申

【議員別賛否一覧／賛成と反対の双方があった議案等について掲載】

議員名	加 治	高 畑	根 木	瀧 田	島	菊	中 川	中 村	山 崎	石 黒	不 後	吉 野	伊 勢	津 田	堀	竹 内	奈 田	高 橋	小 島
	宏 規	吉 成	武 良	孝 吉	正 己	民 夫	一 夫	文 隆	晋 次	善 隆	昇	省 三	司	信 人	義 治	美 津 子	安 弘	久 和	啓 子
議案第1号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ×…反対 ※…議長は採決に加わりません。

令和2年度当初予算が決まりました

令和2年3月議会において令和2年度当初予算が可決されました。一般会計予算は423億6,400万円となり、前年度と比べて7億8,100万円の減（▲1.8%）となっています。市の発展、成長や人口増につながる施策と合わせて、健全な財政運営を推進するための行財政改革の取組など、さまざまな事業が行われますが、ここでは、令和2年度に実施予定の新規事業や施策などに関連して、昨年中に議会から質問や提案を行っていたものを中心にご紹介します。

台北市士林区との交流などを推進 448.4万円

令和元年度に友好交流協力に関する覚書を締結した台湾の台北市士林区との交流を推進するため、国際交流コーディネーターの配置や市内団体などが士林区へ訪問する際の費用助成などを行います。

こんな質問・提案をしていました

Q 士林区との覚書の締結は今後の国際交流施策に弾みをつけるものとなるのではないかな。

A 今回の覚書の締結を市民が国際理解を深めるきっかけとするとともに、今後は幅広い分野で交流を進め、交流人口の拡大や地域活性化につなげたい。

プラスチック資源循環推進 163.9万円

市内におけるプラスチック発生量などの基礎調査を行うとともに、有識者や市民団体などで構成する、資源循環に関する検討会を設置します。

こんな質問・提案をしていました

Q 国際的にも問題になっている海洋プラスチック問題に今後どのように取り組むのか。

A プラスチックごみの海への流出を抑えるため、これまで取り組んできたプラスチックの排出抑制、資源循環、回収をさらに推進していく。

介護・保育従事者への奨学資金貸与 630万円

市内の介護事業所または保育園などで勤務しようとする学生に奨学資金を貸与します。なお、市内で一定期間勤務した場合は返済を全額免除します。

こんな質問・提案をしていました

Q 介護職員や保育士を確保するための奨学資金制度を創設できないかな。

A 福祉・介護サービス分野に従事する人材の確保に効果が期待できるものとする。すでに実施している奨学資金制度の中で検討していきたい。

ひきこもり支援対策 197.1万円

当事者や家族を支援するため、相談窓口の設置やサポーターの養成、居場所の提供などを行います。

こんな質問・提案をしていました

Q 行政における相談窓口の明確化が必要ではないか。また、当事者や家族が安心して心を休められる居場所づくりについてどのように考えるか。

A まずはひきこもりサポーターの養成などを行いながら、相談しやすい専門相談窓口や、当事者や家族のニーズに合った居場所のあり方を検討していく。

外国人児童生徒への支援 141万円

外国人相談員を増員します。また、今年度から新たに市内小中学校へA I 通訳機を導入します。

こんな質問・提案をしていました

Q 外国人児童生徒に対する適切な教育や受け入れ体制の整備がますます重要になってくるのではないかな。

A 外国人児童生徒が「射水に来てよかった。好きになった」と言える環境づくりに努めていきたい。

● 言語聴覚士（正職）を採用 ●

昨年開催した議会報告会において、発達障害の子どもに対する支援の拡充を求める声が多くありましたが、4月から正規職員の言語聴覚士を配置し、幼児ことばの教室での言語訓練や保護者への支援などを行います。



▲昨年開催した議会報告会の様子

ここに掲載してあるもののほか、予算の詳しい内容については市ホームページをご覧ください

代表質問



【自民党新政会】

高橋 久和 議員



- 1 総合計画後期実施計画及び財政見通しから見える本市の将来像について
- 2 児童生徒の体力低下への対応について
- 3 市民病院の経営について

問①▶ 今回示された第2次総合計画後期実施計画及び財政見通しにおいて、本市の将来像をどのように見据え、第3次総合計画につなげていくのか。

答▶ 今後4年間は第2次総合計画の総決算の期間として、本市が重点的に進めてきた子育て支援や安全安心なまちづくり事業などのソフト事業に引き続き取り組むとともに、施設については再編、保全・長寿命化を基本としつつ、将来のまちづくりに必要な施設整備にはしっかりと対応するなど、限られた財源の中にあってもバランス感覚を重視しながら、基本計画に掲げた施策を着実に推進する。また、この4年間でこれまで取り組んできた施策の検証期間としても位置付け、市民満足度を高めるためのアンケート調査や対話による意見なども踏まえ、第3次総合計画の策定に取り組む。

答▶ 本市では幼児期からの体力向上に向けた取組などにより、児童生徒の体力・運動能力は近年少しずつ向上の兆しがみられる。今後とも、遊びや運動、スポーツに親しみ、積極的に体を動かす機会を確保するための環境整備や支援体制の充実に努めたい。



問③▶ 市民病院における減価償却費の推移及び中長期の財政計画について問う。

答▶ 減価償却費は、平成26年度から3か年の継続事業として診療棟耐震化整備事業を行い建物や器械・備品を取得したことで、毎年約4億円を計上しているが、器械・備品の償却年数が主に5年であるため、令和2年度で一旦減少すると見込んでいる。病院事業においては、2年ごとに実施される診療報酬改定により、収益の多くを占める医業収益に大きな影響を受けることから、機器の計画的な更新なども盛り込んだ5年程度の財政見通しを立てながら計画的な病院経営に取り組んでいる。

その他の質問

- 令和2年度予算について
- 新型コロナウイルス感染症への対応について
- 「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」について
- 小中学校におけるICT教育環境の整備について
- 生活支援の充実策（8050問題への対応）について
- 城端線・氷見線のLRT化の検討に関して
- 豪雨などによる河川氾濫に備えて
- これからの農業施策について

問②▶ 「2019年度全国体力テスト」の結果によると、小中学生の体力が低下しているようだが、どのような対策に取り組むのか。

代表質問



【自民議員会】
津田 信人 議員



1 全国体力テストの結果を受けて

2 成人の日2023年問題

3 新型コロナウイルス感染症疑い患者の受け入れについて

4 クロスベイ新湊オープンに向けての考え

5 成年後見制度について

問①▶ 全国体力テストの結果を受け、学校や地域において児童生徒の体力増進にどのように取り組むのか。

答▶ 現在、小学校では体力向上研究会を開催、中学校へは部活動指導員などを派遣しているほか、小中学校ともに専門的指導者を派遣し、教員の指導力向上を図っている。また、地域では市内の総合型地域スポーツクラブが開催するスポーツ教室やスポーツ少年団の活動支援などを行っている。今後も児童生徒の体力の向上と運動習慣の確立に向けた取組を一層推進したい。

問②▶ 民法の改正により成年年齢が20歳から18歳に引き下げられるが、成人式の対象年齢や実施時期はどうするのか。

答▶ 新成人の意向をはじめ多様な意見を参考に、令和2年度中を目途に方針を決定したい。

問③▶ 市民病院では新型コロナウイルスに感染した疑いのある患者の受け入れをどのように考えているのか。

答▶ 感染した疑いのある患者が受診した場合の動線などを他の患者と別にできるように体制を整えたところである。今後、県内で新型コロナウイルス

感染症が発生し、県内の感染症指定医療機関のみでの受け入れが困難となった場合には、県の要請に応じ速やかに「帰国者・接触者外来」を設置し、診察に当たる。

問④▶ 旧新湊庁舎跡地に整備しているクロスベイ新湊のオープンに向け、どのようなことを考えているのか。

答▶ オープニングイベントでは2階コンベンションホールを利用したキャラクターショーや屋外大通りでのマルシェなどの開催を検討しているほか、クロスベイ新湊の整備に合わせて組織された新湊地区まちづくり協議会の会員や地域による新たな取組が行われるものと期待している。また、協議会の専門部会では年間を通し

て賑わいを創出するイベントなどの開催についても協議されている。多くの来場者を迎え入れる交流拠点として活用されるよう取り組んでいきたい。

問⑤▶ 今後市民後見人をどのように増やしていくのか。

答▶ 市民後見人養成講座のPRに努めるとともに、市民後見人バンク登録者のスキル維持、向上を図るため、呉西地区成年後見センターと連携し、フォローアップ研修を実施するなど、市民後見人の増加や質の確保に努める。



その他の質問

- 令和2年度予算について
- 教育用パソコン及びタブレット端末の導入について
- 市民病院における災害時非常用電源の確保について
- 都市計画マスタープランに描かれた今後のまちづくり
- 目まぐるしく変わる農業政策
- 消防組織の広域化への考え

一般質問

1 (仮称)射水市フットボールセンターについて

2 帆船海王丸について

3 遊ぼ〜館について



加治 宏規 議員

問①▶ 富山新港東埋立地に整備を予定しているフットボールセンターの基本計画に対し、どのような要望を聞いているのか。

答▶ 計画内容について市サッカー協会と協議したところ、北信越レベルの大会などを誘致するため、ロッカールームの増室を始めとしたクラブハウス機能の充実について要望が出された。海竜スポーツランドなど近隣のスポーツ施設との連携や現在取り組んでいる基本設計の中で、財源の確保とあわせて検討する。

問②▶ 帆船海王丸を今後どのように活用していくのか。

答▶ 今後も伏木富山港・海王丸財団が行う一般公開や海洋教室などによる海事思想の普及や青少年の健全育成が図られるよう努めるとともに、

に、県内有数の観光施設である海王丸パークのシンボルとして一層観光振興に活用していく。

問③▶ 大島中央公園内に整備された「遊ぼ〜館」のような施設を、施設の統廃合に伴う既存施設の活用などで整備できないか。

答▶ 公共施設の再編、統合に伴い生じた既存施設を利活用した屋内遊具施設の整備については、立地条件、利用ニーズ、施設の改修費などを踏まえ、公共施設の跡地利用検討委員会にて提案するなどして検討していきたい。

その他の質問

- 市内商店街について
- 市営住宅と特定公共賃貸住宅について
- クロスベイ新湊について

一般質問

1 一人暮らし高齢者対策について

2 クロスベイ新湊敷地内に公衆トイレの設置を



石黒 善隆 議員

問①i▶ 高齢者の孤立をどのように防止していくのか伺う。

答▶ ケアネットなどの見守りに加え、地域支え合いネットワーク事業をさらに推進し、孤立が心配される高齢者の情報を地域、関係機関及び行政が緊密に共有することで、個別の状況に応じて、地域での社会参加や必要な生活支援へとつなげるよう働きかけていく。

問①ii▶ 地域で高齢者の世話をする地域ボランティアなどの担い手をどのように確保していくのか。

答▶ 既に実施している生活支援の担い手を育成する研修などを継続しながら、担い手確保に努めていく。

問②▶ 旧新湊庁舎跡地に整備して

いるクロスベイ新湊の敷地内に、施設が閉鎖していても利用できる公衆トイレを設置する必要があると考えるが、見解を伺う。

答▶ クロスベイ新湊の開館時間は午前9時から午後9時頃までとし、休館日は年末年始のみとしたいと考えており、開館時は施設のトイレを利用してもらうことを想定している。敷地内での公衆トイレの設置は、公共交通ターミナルへの長距離バス誘致の状況や、今後当地を訪れる来訪者の声、既存のトイレ機能の配置状況などを勘案しながら検討したい。

その他の質問

- 用水路、側溝での転落死亡事故への対応について

一般質問

1 統合型校務支援システム導入事業について

2 重度精神障害者医療費の無料化について



小島 啓子 議員

問①▶ 学籍や成績など複数の校務情報を一元管理できる統合型校務支援システムの導入により、具体的にはどのように教員の長時間勤務の解消に繋がるのか伺う。

答▶ 校務事務ごとの入力作業の重複を省き、情報をリンクできるなど、事務作業の効率化を図ることが可能となるほか、教員間の情報共有、事務作業に対する負担感の軽減、作業ミスの防止などの様々なメリットがあり、教員の長時間勤務の削減に効果があると考えます。

問②i▶ 10月から65歳未満の精神障害者保健福祉手帳1級所持者の医療費が無料となるが、本市における対象者の数及び影響額を伺う。

答▶ 平成31年4月1日現在の対

象者は26人であり、影響額は年額約650万円になると試算している。

問②ii▶ 1級の手帳所持者のみ医療費無料の対象とするのでは不十分との声が上がっている。3級までの拡充が必要と考えるが、見解を伺う。

答▶ 対象を3級の手帳所持者まで拡充する場合、本市の影響額は約9千万円の負担となることが見込まれ、実施は困難である。なお、精神障がい者の医療費負担については、自立支援医療制度の中ですでに一定程度の軽減が図られていると考えている。

その他の質問

- 会計年度任用職員制度について
- コミュニティセンターの今後の対応について

一般質問

1 東京オリンピック・パラリンピックについて

2 学校における感染症対策について



高畑 吉成 議員

問①i▶ 東京オリンピック・パラリンピックを市民のスポーツ推進にどのようにつなげていくのか。

答▶ この機会を捉えて、各種スポーツ教室を積極的に展開し、市民の誰もがスポーツに親しめるよう取組を進める。

問①ii▶ 多文化共生社会の実現に向け、東京オリンピック・パラリンピックをどのように活かすのか。

答▶ 大会を契機に、互いの文化や価値観の違いを理解できるよう、引き続き射水市民国際交流協会や県などと連携を図りながら、外国人住民と共生する地域づくりに取り組む。

問②i▶ 近年のインフルエンザ流行

期における小中学校の学級閉鎖の状況は。

答▶ 令和元年度（3月2日現在）は9校で17学級となっている。なお、国内の流行状況に応じて学級閉鎖数も年度により変動している。

問②ii▶ 小中学校におけるインフルエンザ感染防止の対策を伺う。

答▶ 例年、国や県の通知に基づき、学校及び学校医などと連携しながら、児童生徒、教職員などの感染予防に努めている。



一般質問

1 水道事業について



根木 武良 議員

問①i▶ 県の西部水道用水供給事業では、3つのダムにより本市を含む県西部4市の給水量を確保しようと

しているが、3つのダムのうち境川ダムの建設目的、建設期間及び費用について伺う。

答▶ 境川ダムは洪水調節、特定かんがい、水道用水、工業用水、発電及び消流雪用水の確保を目的とする多目的ダムであり、県が昭和51年度に着工し、385億円の費用をかけて平成5年度に完成している。

問①ii▶ 境川ダムの建設費用は当初出資金で負担していたと聞いているが、現在はどうに負担しているのか。

答▶ ダム完成後の平成6年度から平成15年度までは出資金として本市から1億2551万4千円を出資しているが、出資金の対象であった資産が減価償却費等として費用化されることとなったため、平成16年度以降

は受水費で負担している。

問①iii▶ 境川ダムの建設費用を含めた受水費の負担が本市水道事業の経営に大きな影響を及ぼしているのではないのか。

答▶ 財政状況に影響があることから、受水費軽減に向けて、受水している県西部4市が連携し、県に対して要望・協議を重ね、将来にわたり安定的な事業運営となるよう努める。

その他の質問

- 障がい者に配慮した施設整備について
- パークゴルフ場の通年オープンについて
- 臨時休校期間中の対応について

一般質問

1 将来の射水市について

2 食育推進計画について



山崎 晋次 議員

問①▶ ポテンシャルを活かした40年後・50年後の本市の未来ビジョンをどのように描いているのか。

答▶ まずは第2期総合戦略で掲げた40年後の目標人口7万2千人の達成に向け、人口減少の克服と地域活性化を目指すとともに、第3次総合計画を構想する中で、本市の新たな将来像を描いていきたい。

問②i▶ 朝食を欠食する児童生徒の割合は現在どのようになっているのか。

答▶ 令和元年度の統計資料では小学生が0.7%、中学生が2.0%であり、平成26年度と比較すると小学生は変化なし、中学生は0.1ポイントの減少であった。児童生徒には家庭科

などの授業や「あったか家族応援プロジェクト」の実施などを通じて食育を啓発している。

問②ii▶ 第3次食育推進計画の策定に今後どのように取り組むのか伺う。

答▶ 人々のライフスタイルや価値観の変化、社会や経済情勢の影響による欠食や栄養バランスの乱れなど、健全な食生活の営みを阻む要因が多い現代社会の中で、市民が食育に関心を持ち、自ら実践するための計画として策定し、より効果的な取組となるよう推進していきたい。

その他の質問

- クロスベイ新湊について
- 観光振興について

総務文教常任委員会

議案8件を可決すべきものとしました。
所管事務について9件の報告を受けました。

クロスベイ新湊で

飲食店の創業をサポート

(議案第27号)

旧新湊庁舎跡地に整備しているクロスベイ新湊に厨房機器を整備する。

- ◆ 契約金額 2805万円
- ◆ 契約の相手方 ホシザキ北信越株式会社 高岡営業所

海電スポーツランドに

空冷式(電気)の熱源を採用

(議案第28号)

海電スポーツランドの熱源を現行の水冷式から空冷式(電気)に更新する。

- ◆ 契約金額 3億3220万円
- ◆ 契約の相手方 菱機工業・丸芳工業海電スポーツランド熱源更新工事共同企業体

バリアフリーの

基本方針を策定

(射水市バリアフリーマスタープラン)

プランでは、駅や商業施設などの生活関連施設が徒歩圏内であるなど一定の要件を満たす3箇所の地区を「移動等円滑化促進地区」と定めた。

小杉体育館の愛称が

「ビルト・プレイズ

歌の森体育館」に

小杉体育館のネーミングライツパートナーに1社から応募があった。

- ◆ 優先交渉提案者 株式会社 ビルト・プレイズ
- ◆ 契約金額 110万円/年

問 どの場所にどのような厨房機器を整備するのか。

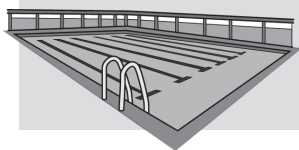
答 1階には2区画のシェアキッチンを整備し、それぞれの区画にオーブンやコンロ、シンク、冷蔵庫などを設置する。シェアキッチンは将来飲食店などを創業したい方が開業に向けてのシミュレーションを行う場所としたい。また、2階のパントリーには、コンベンションホールでの料理の提供に加えて、例えば有名な料理人がイベントなどで利用することを想定し、オーブンやフライヤーなどを設ける。

問 十分に検討した上で熱源の方式を変更するのか。

答 特にコスト面で比較したところ、現行の方式では空冷式(電気)よりも工事費が高くなり、また維持管理費は倍程度となるため、空冷式(電気)を採用することとした。

問 工事期間中の営業は。

答 熱源を切り替える時期のみ3週間程度休館する。



問 移動等円滑化促進地区に設定されなかった地域でもバリアフリーに取り組むべきではないか。

答 促進地区内外にかかわらず、プランに基づき市全域でバリアフリーに取り組む。

問 市がバリアフリーに向けた工事などの事業を行う場合、国などから助成は受けられるのか。

答 事業によっては交付税措置のある有利な起債が充当できる場合もあると考えている。

問 契約金額はどのように決めているのか。

答 体育施設は概ね延床面積で金額を算出している。

問 今後、体育施設以外の公共施設へネーミングライツ事業を導入する予定はあるのか。

答 すでに文化施設でもネーミングライツ事業を実施しているが、今後は公園や道路などへの事業の拡充についても研究していく。

民生病院常任委員会

議案17件を可決すべきものとしました。
所管事務について17件の報告を受けました。

射水市立保育園条例の 一部改正について

(議案第20号)

令和2年4月に新湊保育園
及び新湊西部保育園を統合し
民営化することに伴い、本市
条例について所要の改正を
行った。

認知症施策の 推進について

認知症の予備群と言われる
軽度認知障害を早期に見出す
ため、認知機能検診を実施
する。受診者には二次医療機
関への紹介や介護予防事業へ
のコーディネートを行うなど、
高齢者の認知症予防の取
組を推進する。

第2次射水市健康増進 プラン(案)について

急激な少子高齢化や生活習
慣病が増加する中、全ての市民
が生涯にわたって健やかでこ
る豊かに生活していくためには
市民一人ひとりが健康づくり
に取り組む、それを社会全体で支
援することが重要となる。今年
度同プランが最終評価を迎える
ことから、健康づくりを推進す
る行動計画として「第2次射水
市健康増進プラン」を策定する。

産後夫婦家事サポート 事業について

産後2か月までは母体への
負担が大きく心身ともに不安
定になりやすい時期に、県の
新規モデル事業を利用し、ヘル
パーを派遣し家事・育児支
援を行うことで、母体の負担
軽減を図り、産後のうつ予防
を図るとともに、夫婦のこ
もへの愛着形成に資すること
を目的とする。

問 保育園を民営化するメリッ
トは何か。

答 公立保育園を統合・民営化
し、認定こども園の新湊うみ
ども園では、保護者の就労状
況にかかわらず子どもを預か
ることができる。



問 65歳以上の対象者にどのよ
うにして周知するのか。

答 市報、ホームページ、出前
講座(脳いきいき健康講座)
などで周知を図る。高齢者の
運転免許証更新時の認知機能
検査の機会も活用を検討して
いる。また、かかりつけ医か
らの受診勧奨も想定しており、
サポート医との連携が重要に
なると考えている。

問 がん検診などの受診率向上
のためどのような取組をして
いるのか。

答 未受診者への受診勧奨を行
うとともに、受診しやすい環
境を整えるためウェブ予約の
受付なども取り入れている。
また、今後はがん検診などの
受診を躊躇している市民に対
する啓発も施策の中で取り組
みたいと考えている。

問 この制度はどのようにして
周知するのか。

答 保健センターに妊娠届を提
出に来る際に母子保健の各種
チラシを配布している。その
中にこの制度のチラシも入れ
るとともに、説明を行う予定
にしている。

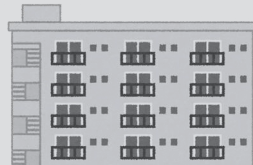
射水市営住宅条例等の 一部改正

(議案第22号)

- (議案等の概要)
- ・滞納家賃等の弁済に敷金を充てることができる旨を明文化
 - ・不正入居者に住宅の明渡しを請求する際の利息見直し
 - ・立町特定公共賃貸住宅の一部を市営住宅に用途変更

問 立町特定公共賃貸住宅について、一部を市営住宅に用途変更するが、入居率向上に向けたPR方法は。

答 従来の方法に加え、ケーブルテレビや「ちやいる.com(どっとこむ)」等の新たな周知方法も検討してPRに努める。



不法係留船の 解消に向けて

新湊地区における不法係留船を解消し、河川等の利用に係る秩序の確立と河川の治水安全度の向上を図る。

【今後のスケジュール】
令和2年3月
不法係留船対策に係る計画書の決定、公表
令和2年9月
重点的撤去区域の設定及び放置等禁止区域の指定
令和2年10月以降
保管施設への誘導を促す個別指導の強化

問 対策により、不法係留しているプレジャーボートはマリーナへ移設されるのか。

答 内川のパトロール強化やマリーナへの誘導について、県と連携し周知啓発に努める。

水道事業

ビジョンの見直し

水道事業が将来にわたり安定的に事業を継続していくため、現状分析と将来予測を実施し明確な将来像を掲げた新たな「水道事業ビジョン」を策定する。

【計画期間：令和2～10年度】

問 管路の耐震適合率79.7%とのことだが、レベル2の震度は、どのように理解すればよいか。

答 近年の大規模地震の発生によりレベル2基準となり、最大値である震度7を大規模地震としている。頻発する地震に耐えられる構造だと理解いただきたい。

下水道事業

ビジョンの見直し

下水道サービスを継続的に安定的に提供するため、現状分析と将来予測を実施し、今後取り組みべき課題や方向性を示す、新たな「下水道事業ビジョン」を策定する。

【計画期間：令和2～10年度】

問 積極的な値上げを言うわけではないが、使用料は上げざるをえないのではないか。

答 将来的に、耐用年数どおりに設備更新すると単年度で数十億円の費用がかかる。施設の長寿命化や年間投資額の平準化を図っても現状の使用料収入ではまかなえないものと感じている。

予算特別委員会

令和2年度

射水市一般会計予算

歳入歳出の予算総額をそれぞれ423億6400万円とするもの。

主な事業

【新たな時代を切り拓く いみず特別枠】

○ひきこもり支援対策

○保育や介護従事者を目指す

学生への奨学資金貸与制度の創設

○小中学校のICT教育環境の整備 など

【行革推進特別枠】

○クリーンピア射水や大門中学校など公共施設の長寿命化 など

【その他】

○新斎場の整備 など

外国人や障がい者からの 消防への通報の対応を強化

問 令和2年度に導入するシステムや機器などの特徴は。

令和2年度射水市一般会計予算（議案第1号）及び令和元年度射水市一般会計補正予算（第5号）（議案第8号）を可決すべきものとしました。

答 スマートフォンなどの画面

から「救急」「火災」などを選んで通報できるシステムのほか、外国人からの通報では、通信指令員が通訳オペレーターにつながることでできるサービスを導入する。

また、携帯型の多言語音声翻訳機を導入し、救急現場などで外国人との円滑な意思疎通を図る。

衛生センターの 規模を縮小

問 衛生センターの今後の整備計画は。

答 衛生センターは施設が老朽化している上、下水道の普及により、し尿の処理量が減少し、運転効率が悪化していることから、規模を縮小して整備する。令和2年度に施設の整備方針を定める予定である。

令和元年度

射水市一般会計補正予算 （第5号）（議案第8号）

歳入歳出からそれぞれ3億1237万6千円を減額し、予算総額を443億3119万3千円とするもの。

保育園児などの お散歩コースを安全に

問 保育園児などのお散歩コースにおける交通安全対策は。

答 安全点検の結果、コースが変更できないなどの危険箇所について、注意喚起のためのカラー舗装化や路面標示のほか、標識や看板を設置していく。

議会改革特別委員会

議員定数及び議員報酬について協議しました。また、今後この委員会で検討していくべき課題などを整理しました。

◎委員会での検討内容

【議員定数・議員報酬など】

○議員定数について、6月定例会を目的に方向性をまとめる。

○議員報酬や議員のなり手不足（前回の選挙が無投票）問題も議員定数と関連があることから、議員定数とあわせて検討する。

【その他】

○市民からの意見を聞くため、各種団体との意見交換会や、アンケートについても検討する。

委員会では今後検討していくこと

◆通年議会

◆決算特別委員会のあり方

◆全員協議会での協議事項に対する質疑の場



3月10日



3月16日



3月17日

● インターネットで議会映像や会議録をご覧になれます ●

議会映像の動画配信

本会議及び予算特別委員会の録画映像をパソコンやスマートフォン、タブレット端末などで視聴できるインターネット配信を行っています。

ケーブルテレビを視聴されていない方や議場に来て傍聴することができない方のため、また、見たい時にいつでも気軽にみることができるインターネットの利点を生かし、積極的に情報提供を行うことで、より「開かれた議会」「身近な議会」を目指します。

■会議名、議員名のほか、発言項目によるキーワード検索ができます。

■配信対象は、平成28年3月定例会以降の本会議及び予算特別委員会です。



射水市議会の
インターネット
中継（録画）は
こちらです



本会議会議録の検索と閲覧

本会議の内容を記録した会議録は定例会及び臨時会ごとに作成されます。本会議の全ての内容が記載されており、議会事務局や図書館、各地区センターで閲覧することができます。また、会議録検索システムで、会議録の内容をキーワードや発言者で検索し閲覧することができます。



会議録検索システム
はこちらです。



編集後記



中村 文隆 広報委員会副委員長

今回の3月定例会では、多岐にわたる関連な議論が交わされる中、いみず未来活力予算と題した新年度予算が承認されました。しかし、会期中にも指摘された新型コロナウイルス感染症による市内中小企業並びに小規模事業者への経済的打撃は甚大であり、国県だけでなく市においても手を差し伸べるべく新たな施策や補正予算を組むことも念頭に議会としても取り組んで参ります。また、県内において発症者が発生したことにより、様々な対応判断について新たなステージに突入しました。気を引き締めて事に当たります。全国に緊急事態宣言が出される中、本市にも暗い影を落としている感染症の一刻も早い終息を願いつつ、市民の皆様方と共にこの苦難に打ち勝って参りましょう。

●広報委員会 [委員長] 伊勢 司 [副委員長] 中村 文隆

[委員] 瀧田 孝吉、石黒 善隆、吉野 省三、津田 信人、竹内美津子、奈田 安弘、高橋 久和

6月定例会は、 6月8日（月）から始まります

会期日程は、決まり次第ホームページに掲載します。

詳しくは、議事調査課（TEL 51-6610）までお問い合わせください。

3月 定例会傍聴者数

本会議 …… 28人

委員会 …… 26人

合計54人

皆さんの傍聴をお待ちしています。ご希望の方は、議会開催日に本庁舎5階・議会事務局までお越しください。